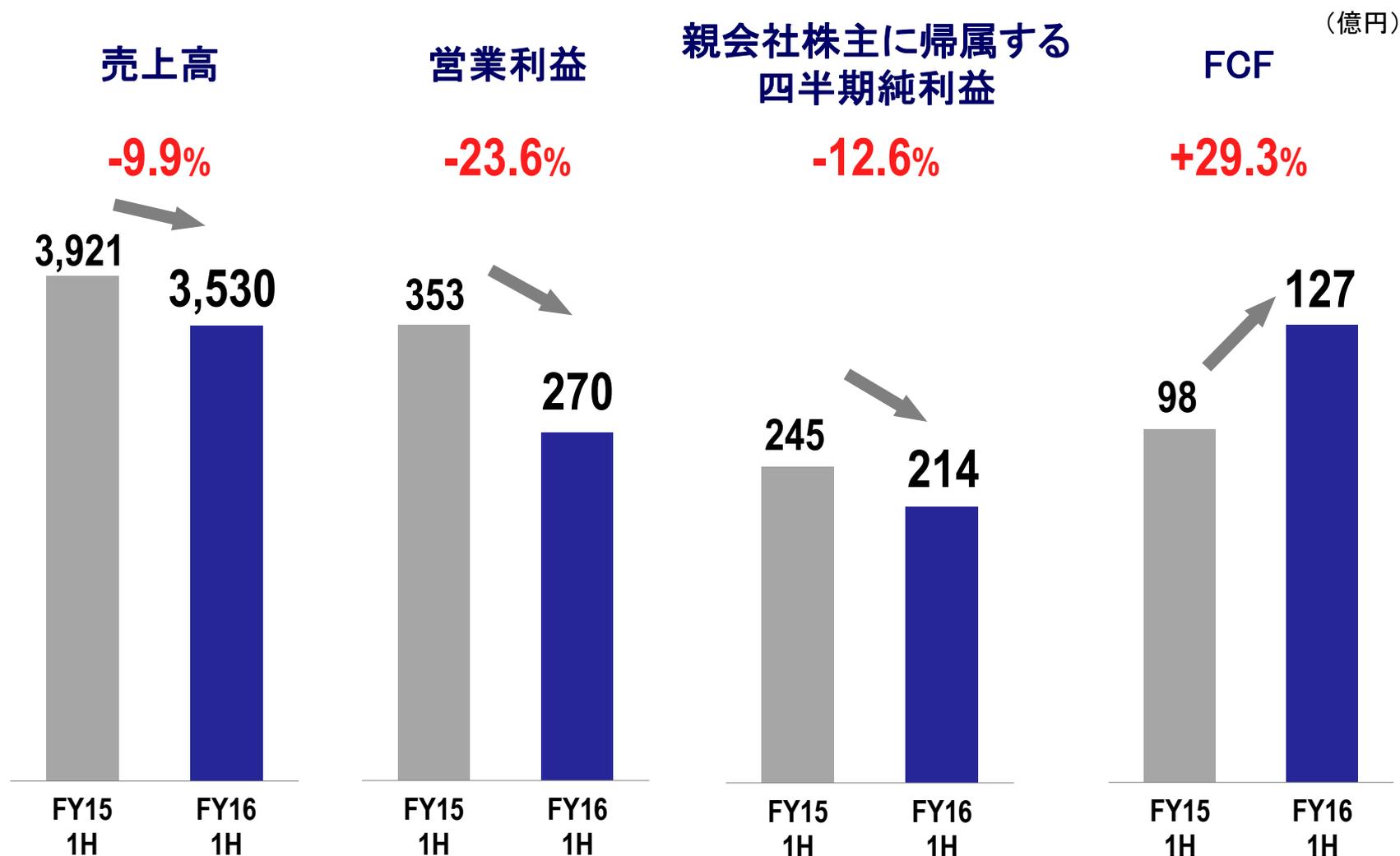

**2017年3月期
第2四半期決算 及び 通期業績見通し
説明資料**

帝人株式会社
2016年11月7日

第2四半期決算概況

(1) 2017年3月期 第2四半期決算概況

第2四半期累計(前年同期比)



◆ 経営成績 (億円)	15年度 上期	16年度 上期	差異 金額
売上高	3,921	3,530	-390
営業利益	353	270	-83
<営業利益率>	9.0%	7.6%	-1.4%
営業外損益	5	-3	-8
経常利益	358	267	-92
特別損益	-29	-29	-0
税金等調整前 四半期純利益	330	238	-92
法人税等	89	20	-69
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-4	4	+8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	245	214	-31
1株当たり 四半期純利益 *1(円)	124.5	108.7	-15.8
EBITDA *2	544	456	-88
設備投資 *3	164	179	+15
減価償却費	190	186	-4
研究開発費	164	195	+31
FCF	98	127	+29

■売上高 減収

- 各事業の販売は総じて堅調に推移も円高と樹脂事業の構造改革に伴う生産体制適正化の影響で減収

■営業利益・経常利益 減益

- 既存事業の成長と構造改革により収益力は着実に改善も新薬導入費用や為替影響により減益
- 為替差損の発生等で営業外収支悪化

■純利益 減益

- 税効果会計の影響により税金費用減少

◇PL換算レート	15年度 上期	16年度 上期
円/米ドル	122	105
円/ユーロ	135	118
米ドル/ユーロ	1.11	1.12

*1: 2016年10月1日付の株式併合に伴い、前年度期首に株式併合が行われたと仮定して算定

*2: EBITDA (営業利益+減価償却費)にて算出

*3: 設備投資には無形固定資産を含む

◆ 営業外損益

(億円)	15年度 上期	16年度 上期	差異 金額
受取利息	3	3	-0
受取配当金	10	11	+1
持分法による投資利益	20	25	+5
雑収入	7	3	-4
営業外収益 計	40	43	+3
支払利息	13	11	-2
為替差損・ デリバティブ評価損	7	25	+18
雑損失	15	10	-5
営業外費用 計	35	46	+11
営業外損益 計	5	-3	-8

◆ 特別損益

(億円)	15年度 上期	16年度 上期	差異 金額
固定資産売却益	1	2	1
投資有価証券売却益	1	0	-1
減損損失戻入益	19	1	-18
その他	2	6	+4
特別利益 計	23	9	-14
固定資産除売却損	6	12	+6
減損損失	8	6	-2
事業構造改善費用	34	15	-19
その他	4	5	+1
特別損失 計	51	38	-14
特別損益 計	-29	-29	-0

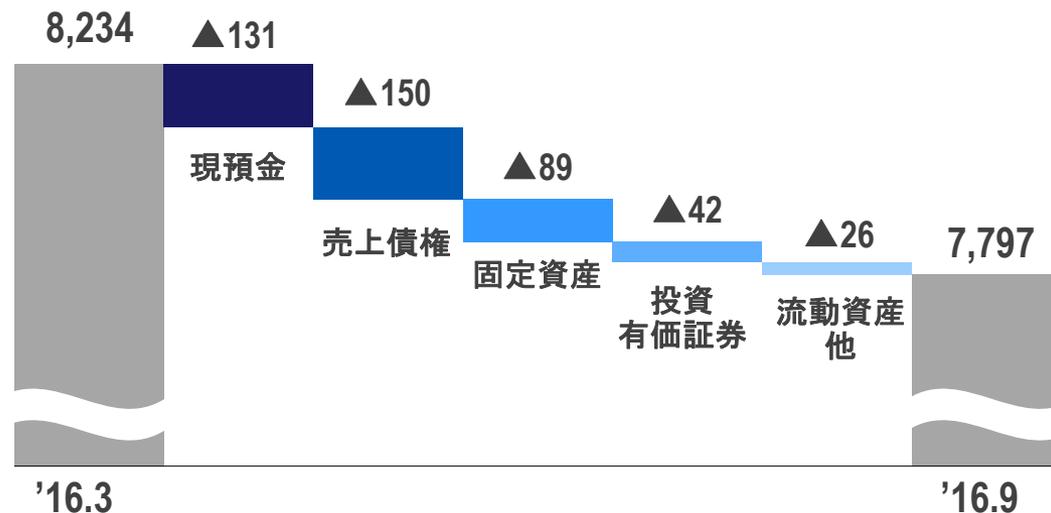
◆ 財政状態

(億円)	16年 3月末	16年 9月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	8,234	7,797	-437	-239
自己資本	3,001	3,048	+47	-128
有利子負債	3,033	2,762	-271	-64
D/Eレシオ	1.01	0.91	-0.10	
自己資本比率	36.4%	39.1%	+2.6%	

◆ キャッシュ・フローの状況

(億円)	15年度 上期	16年度 上期	差異
営業活動	263	315	+52
投資活動	-165	-188	-23
FCF	98	127	+29
財務活動他	-283	-258	+25
現金及び 現金同等物増減	-185	-131	+54

◇ 総資産増減内訳

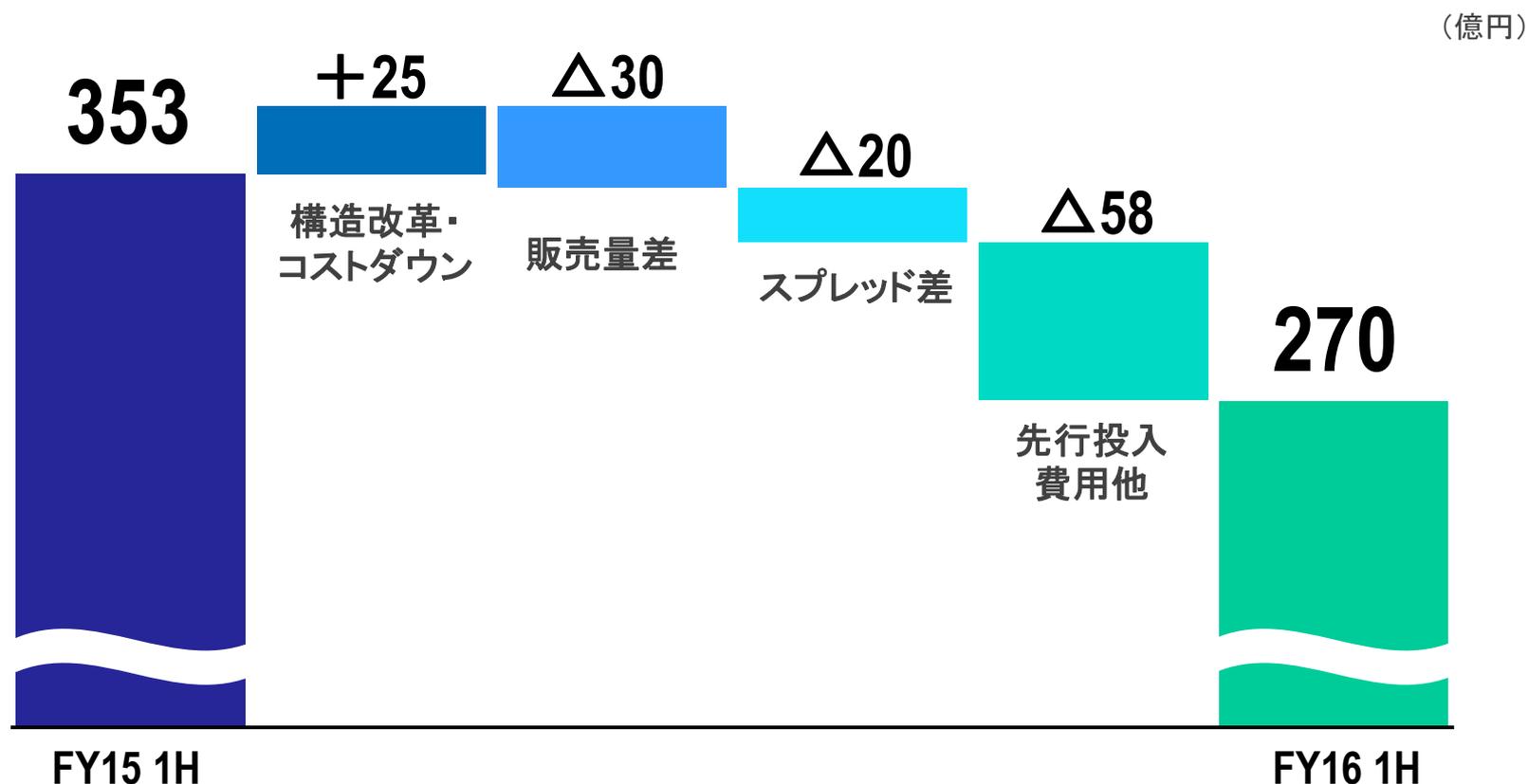


◇ BS換算レート

	16年 3月末	16年 9月末
円／米ドル	113	101
円／ユーロ	128	113
米ドル／ユーロ	1.13	1.12

◆ 営業利益増減分析

構造改革等によるコストダウン効果はあるが、新薬導入費用の計上や樹脂事業の販売量減、為替影響等により減益



(2) セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前年同期)

(億円)	売上高				営業利益			
	15年度 上期	16年度 上期	差異	増減率	15年度 上期	16年度 上期	差異	増減率
高機能繊維・複合材料	654	573	-81	-12.3%	93	77	-16	-17.3%
電子材料・化成品	873	669	-205	-23.5%	119	94	-25	-20.8%
ヘルスケア	748	736	-13	-1.7%	168	124	-44	-26.2%
製品	1,301	1,255	-46	-3.6%	22	29	+7	+33.3%
計	3,577	3,233	-344	-9.6%	401	324	-77	-19.3%
その他	344	298	-46	-13.3%	19	22	+3	+13.5%
消去又は全社	—	—	—	—	-67	-75	-9	—
合計	3,921	3,530	-390	-9.9%	353	270	-83	-23.6%

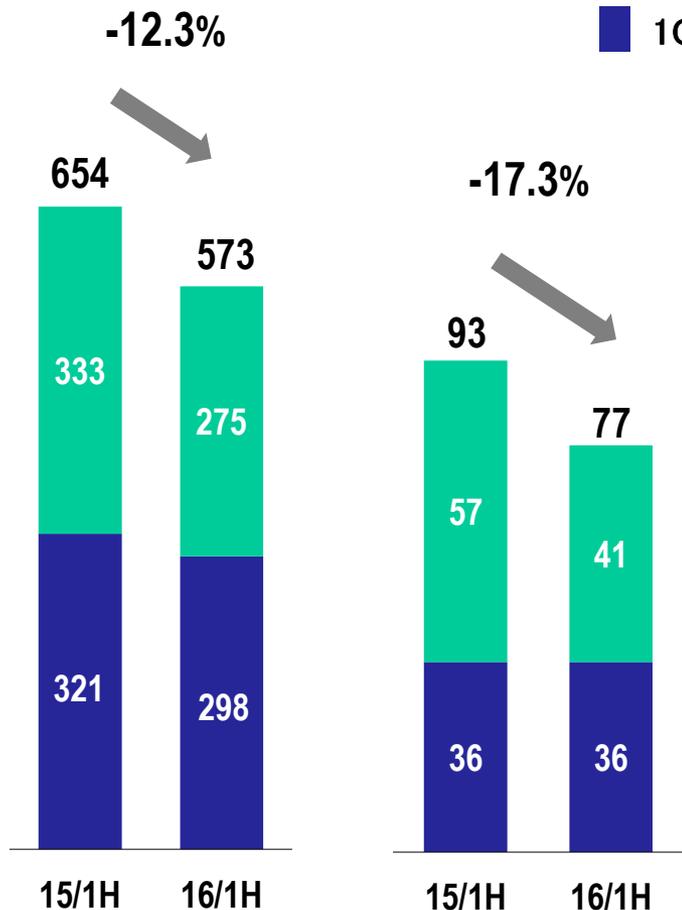
高機能繊維・複合材料事業

販売は堅調ながら、為替影響と
アラミド繊維の定修要因により減収・減益

売上高

営業利益

■ 2Q
■ 1Q



(億円)

(億円)	15/1H	16/1H	差異	増減率
売上高	654	573	-81	-12.3%
営業利益	93	77	-16	-17.3%

■ 高機能繊維

パラアラミド繊維:

- ・ 欧州タイヤ向け等の自動車用途が順調に拡大
- ・ 防弾用途や油田採掘関連用途は低調

メタアラミド繊維:

- ・ フィルター用途は激しい競合環境が継続
- ・ 自動車関連、防護衣料、産業資材用途は堅調

ポリエステル繊維:

- ・ 自動車用途や水処理用膜向け等が堅調
- ・ 国内生産体制再編とタイへの生産移管を推進

■ 炭素繊維・複合材料

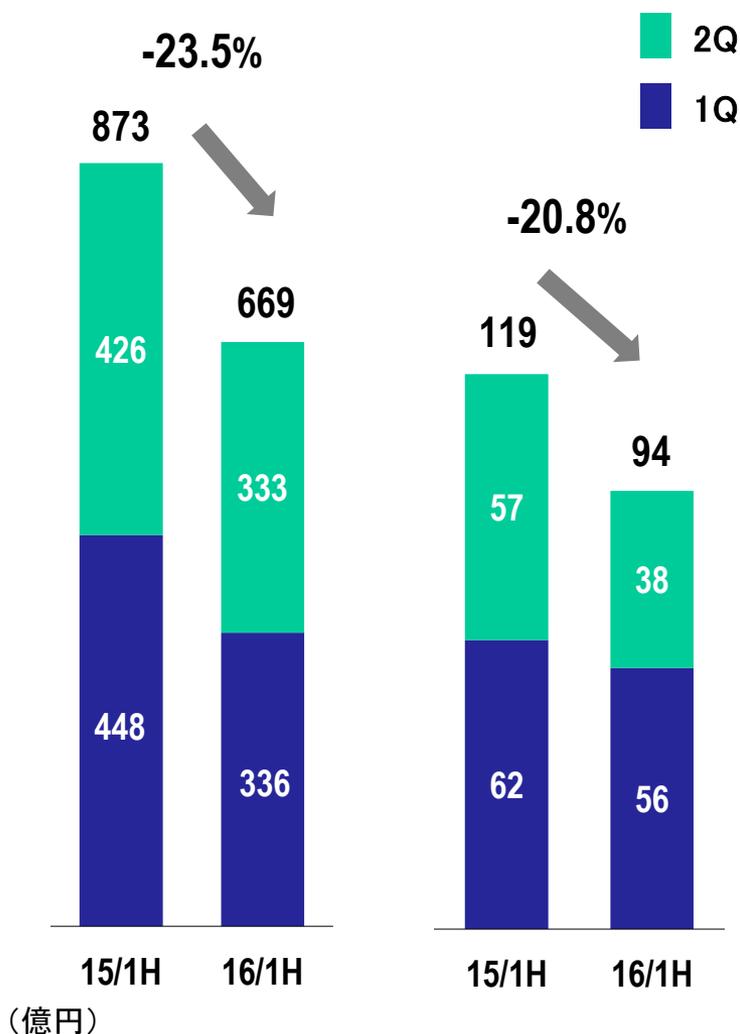
- ・ 航空機用途は順調に推移
- ・ 欧州・アジアの一般産業用途、欧米の風力発電向け販売は堅調

電子材料・化成品事業

汎用品ビジネスの縮小や為替影響により
減収・減益も、利益率の改善傾向を維持

売上高

営業利益



(億円)

	15/1H	16/1H	差異	増減率
売上高	873	669	-205	-23.5%
営業利益	119	94	-25	-20.8%

■ 樹脂

PC樹脂:

- ・ シンガポール工場停止による販売量の減少や、人民元安の影響を受けるも、生産体制適正化・販売構成の改善により収益は安定推移
- ・ 共重合PCを用いた高機能コンパウンドや、高機能繊維との複合材料の開発・販売を推進

機能樹脂:

- ・ カメラレンズ用特殊PCのラインナップ拡充

■ フィルム

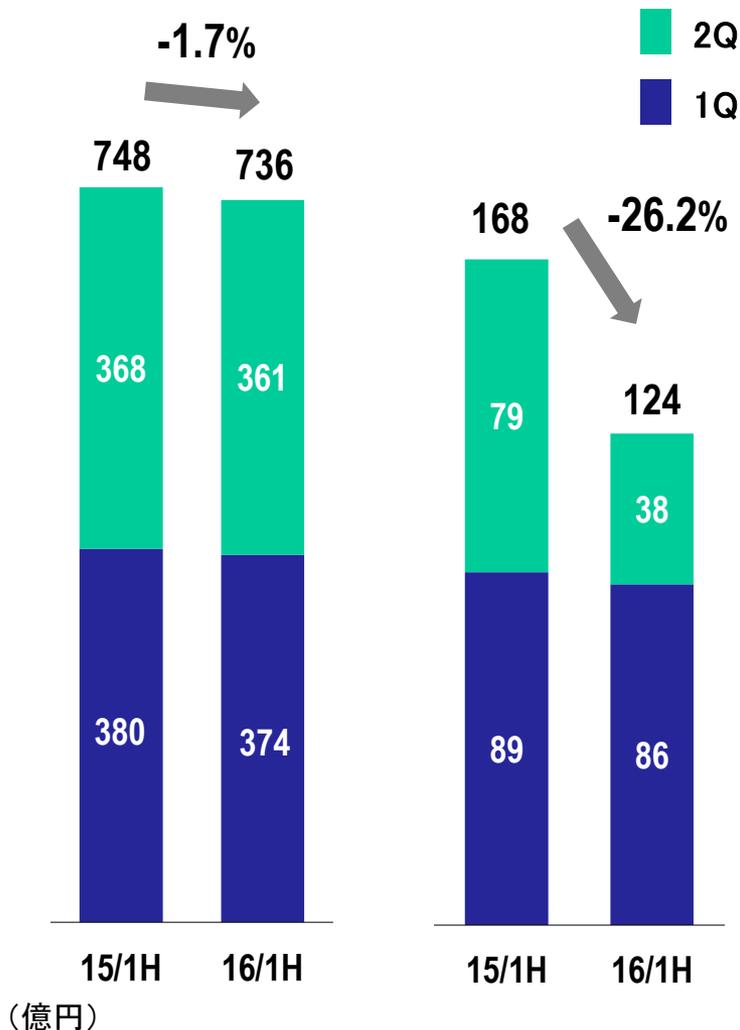
- ・ 工程用離型フィルムや特殊包装用途の輸出品は比較的堅調に推移
- ・ 液晶TV向け反射板は厳しい競合環境が継続
- ・ 有機ELディスプレイ(OLED)向け逆波長分散フィルムはスマホ・タブレット向けで販売拡大
- ・ 岐阜工場を計画通り停止(2016年9月末)

ヘルスケア事業

主力製品・サービスの好調で薬価・診療報酬改定影響を吸収も、新薬導入費用の計上により減益

売上高

営業利益



(億円)

15/1H

16/1H

差異

増減率

売上高

748

736

-13

-1.7%

営業利益

168

124

-44

-26.2%

■ 医薬品

- ・ 高尿酸血症・痛風治療剤「フェブキソスタット」、先端巨大症治療剤「ソマチュリン*1」等の新薬群が順調に拡大
- ・ 長期収載品は厳しい事業環境続くも、骨粗鬆症治療剤「ボナロン*2」等の剤形追加品の拡大に注力
- ・ 成長ホルモン剤の新規導入に伴い、開発費用を計上

■ 在宅医療

- ・ HOT : 高水準のレンタル台数を維持
- ・ CPAP : レンタル台数は着実に伸長
新機種投入により更なる拡大を目指す
- ・ 厳しい事業環境が継続する米国は費用削減を継続
- ・ 患者情報共有システム「バイタルリンク」の拡大展開

*1 ソマチュリン[®]/Somatuline[®]は、Ipsen Pharmaの登録商標です

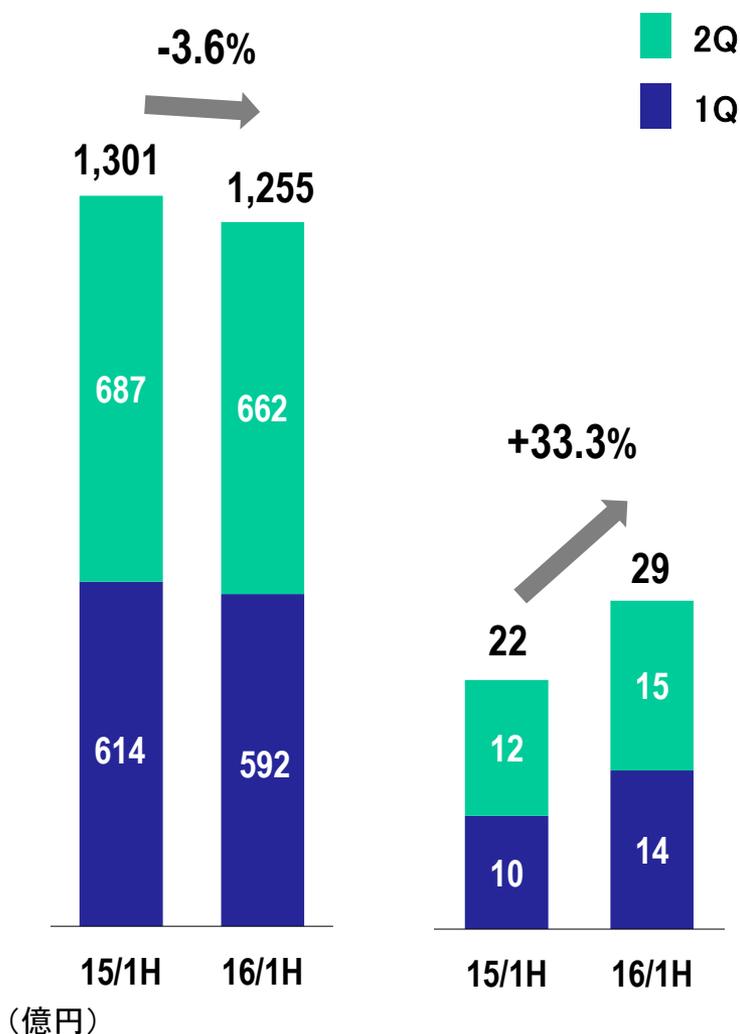
*2 ボナロン[®]/Bonalon[®]はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です

製品事業

円高により売上微減ながら、生産体制の適正化・差別化品ビジネスの拡大により増益

売上高

営業利益



(億円)	15/1H	16/1H	差異	増減率
売上高	1,301	1,255	-46	-3.6%
営業利益	22	29	+7	+33.3%

◇ 衣料繊維

- ・ 欧米のスポーツ・アパレル市場で、高機能素材の販売が引き続き好調
- ・ 小売り販売不振の影響で国内市場低迷も、差別化機能系の拡販等が収益改善に寄与
- ・ 衣料製品は厳しい市場環境継続も、生産性の高い中国への生産回帰を図り、収益性を維持

◇ 産業資材

- ・ 高機能タイヤ用補強材を中心とした自動車部材や、災害復興需要等を受けた土木資材は好調
- ・ スポーツ資材関連等の機能素材輸出が伸長し、衛生用品等の生活資材も堅調
- ・ 天候不順の影響を受けテント地や農業資材は低調
化成品関連の販売は苦戦

2017年3月期 通期業績見通し

◆ 事業環境

マクロ経済

米国を中心に引き続き底堅い成長を見込むも、英国のEU離脱協議の長期化や中国の過剰投資に対する調整といった潜在リスク高まる

下期前提

▼為替 米ドル = 100円 ユーロ = 112円 ▼原油(Dubai) 47米ドル / バレル

アラミド繊維	自動車関連 : 軽量化・高機能化の流れから高機能タイヤ用途を中心に堅調継続 防弾・防護関連 : 防護衣料は堅調も、防弾用途低調 光ファイバー : 後半にかけて中国・インドでの需要底上げ期待
炭素繊維	航空機 : 大型機は減少も中・小型機を中心とした高い生産機数を維持 圧力容器 : 原油価格の底入れに伴いシェールオイル採掘も回復基調 風力発電 : 欧・米での需要伸長
樹脂	事務機器・電気／電子部品 : 全般的には堅調に推移 PC樹脂スプレッドは上期安定も、今後他社増設の市場本格投入による需給軟化・原料高による採算悪化懸念
フィルム	スマホ・タブレット関連部材(工程用離形材料) : 引き続き堅調 液晶TV関連(反射板) : 中国メーカー台頭により厳しい競争環境が継続
医薬品	後発品は引き続き拡大する中、新薬・剤型追加品は順調に拡大 高尿酸血症・痛風治療剤 : 国内・海外とも引き続き高い伸び
在宅医療	国内 : HOTレンタル台数維持、CPAP引き続き拡大基調 海外 : 北米事業は引き続き厳しい状況継続

◆ 通期業績見通しの概況

(億円)	15年度 実績	16年度 見通し	差異		16年度 前回見通し ^{*2}	前回見通しと の差異(金額)
			金額	%		
売上高	7,907	7,300	-607	-7.7%	7,400	-100
営業利益	671	530	-141	-21.0%	530	—
<営業利益率>	8.5%	7.3%	—	-1.2%	7.2%	-0.1%
経常利益	603	530	-73	-12.1%	530	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	311	350	+39	+12.6%	350	—
設備投資 ^{*1}	383	500	+117		530	-30
減価償却費	389	375	-14		385	-10
研究開発費	333	360	+27		360	—
FCF	403	-600	-1,003		120	-720

*1 設備投資には無形固定資産を含む *2 前回見通しは2016年8月2日公表

	中間配当(確定)	期末配当(見通し)	年間配当
配当	5.0円/株 株式併合「前」 ^{*3}	25.0円/株 株式併合「後」 ^{*3}	—

*3 2016年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施
ただし中間配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払い

◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前年実績対比)

		15年度実績			16年度見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
		(億円)						
売上高	高機能繊維・複合材料	654	676	1,330	573	627	1,200	-130
	電子材料・化成品	873	764	1,637	669	631	1,300	-337
	ヘルスケア	748	727	1,475	736	664	1,400	-75
	製品	1,301	1,408	2,709	1,255	1,445	2,700	-9
	計	3,577	3,575	7,152	3,233	3,367	6,600	-552
	その他	344	412	756	298	402	700	-56
合計		3,921	3,987	7,907	3,530	3,770	7,300	-607
営業利益	高機能繊維・複合材料	93	92	185	77	73	150	-35
	電子材料・化成品	119	104	223	94	51	145	-78
	ヘルスケア	168	120	288	124	146	270	-18
	製品	22	31	53	29	31	60	+7
	計	401	348	749	324	301	625	-124
	その他	19	46	65	22	43	65	—
	消去又は全社	-67	-76	-143	-75	-85	-160	-17
合計		353	318	671	270	260	530	-141

◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前回見通し*対比)

* 前回見通しは2016年8月2日公表

(億円)

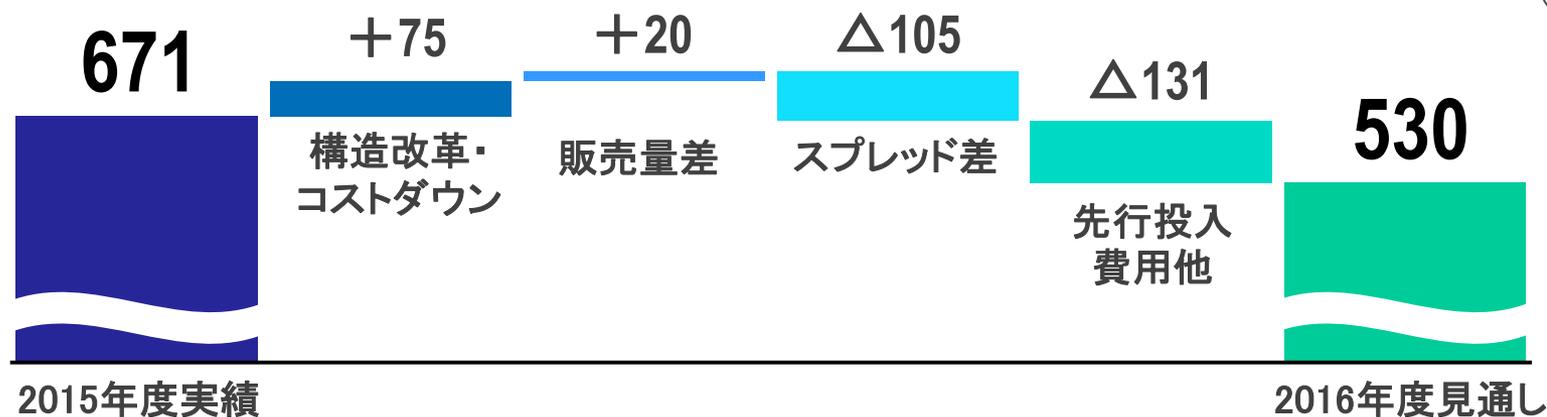
		16年度 前回見通し*			今回見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	高機能繊維・複合材料	600	650	1,250	573	627	1,200	-50
	電子材料・化成品	650	650	1,300	669	631	1,300	—
	ヘルスケア	700	700	1,400	736	664	1,400	—
	製品	1,250	1,500	2,750	1,255	1,445	2,700	-50
	計	3,200	3,500	6,700	3,233	3,367	6,600	-100
	その他	300	400	700	298	402	700	—
合計		3,500	3,900	7,400	3,530	3,770	7,300	-100
営業利益	高機能繊維・複合材料	75	85	160	77	73	150	-10
	電子材料・化成品	80	55	135	94	51	145	+10
	ヘルスケア	115	155	270	124	146	270	—
	製品	25	35	60	29	31	60	—
	計	295	330	625	324	301	625	—
	その他	15	50	65	22	43	65	—
	消去又は全社	-80	-80	-160	-75	-85	-160	—
合計		230	300	530	270	260	530	—

◆ 営業利益増減分析

2015年度実績
対比

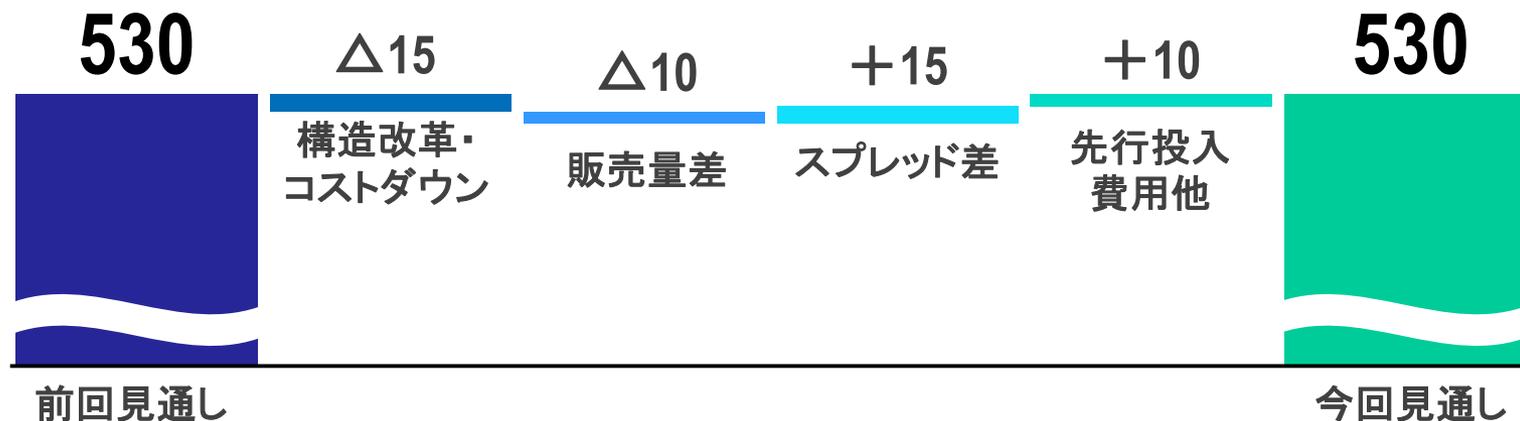
構造改革効果が発現する一方で、樹脂事業でのスプレッド悪化や薬価改定に加え、先行投入費用の増加により減益

(億円)

前回見通し
対比

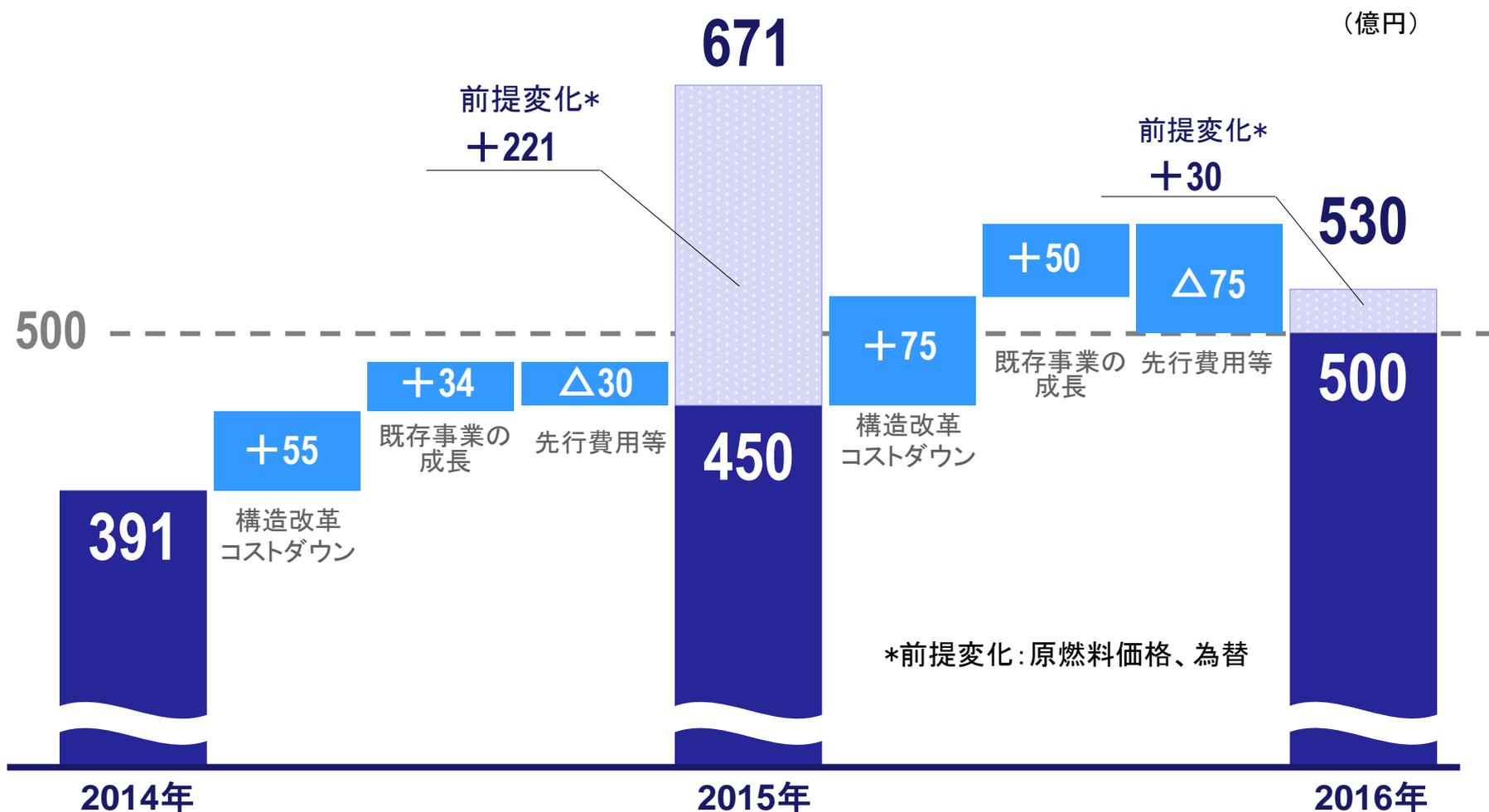
素材事業でスプレッドは改善も、北米在宅医療事業で構造改革の半年遅れを織り込み

(億円)



◆ 営業利益構造変化(2014年を起点とした場合)

外部環境要因を除いた基礎収益力は、
修正中期計画で掲げた目標どおり 着実に改善



◆ 上期-下期 推移（営業利益）

	今回見通し			上期-下期の変化
	上期	下期	上下差	
(億円)				
高機能繊維・複合材料	77	73	-4	販売量は下期にかけ伸長も 円高・原燃料コスト上昇影響で伸び悩み
電子材料・化成品	94	51	-43	季節要因(中国春節)による販売減と、 PC樹脂のスプレッド悪化を織り込む
ヘルスケア	124	146	+23	新薬導入費用なし(+40) フェブキソタット輸出上期偏重,その他研究費増
製品	29	31	+1	季節要因により増益も、国内衣料品消費の 低迷により例年並みの増益幅に至らず
計	324	301	-23	
その他	22	43	+22	IT・エンジニアリング事業の季節要因ほか
消去又は全社	-75	-85	-9	発展プロジェクト費用増
合計	270	260	-10	

◆ 主要経営指標

	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 実績	16年度 見通し
ROA：営業利益／総資産	1.6%	2.4%	4.9%	8.2%	6.0%
ROE：当期利益／自己資本 ^{*1}	-10.3%	3.0%	-2.8%	10.6%	11.5%
売上高営業利益率	1.7%	2.3%	5.0%	8.5%	7.3%
D/Eレシオ ^{*2}	1.00	1.00	1.07	1.01	1.2
自己資本比率	35.6%	36.7%	34.9%	36.4%	33.3%
1株当たり当期純利益(円) ^{*3}	-148.1	42.5	-41.1	158.1	178.0
1株当たり配当金(円) ^{*3}	20	20	20	35	50
総資産(億円)	7,624	7,684	8,237	8,234	9,300
有利子負債(億円)	2,708	2,815	3,082	3,033	3,750
EBITDA(億円) ^{*4}	592	637	821	1,060	905

*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出

*2 「有利子負債÷自己資本」にて算出

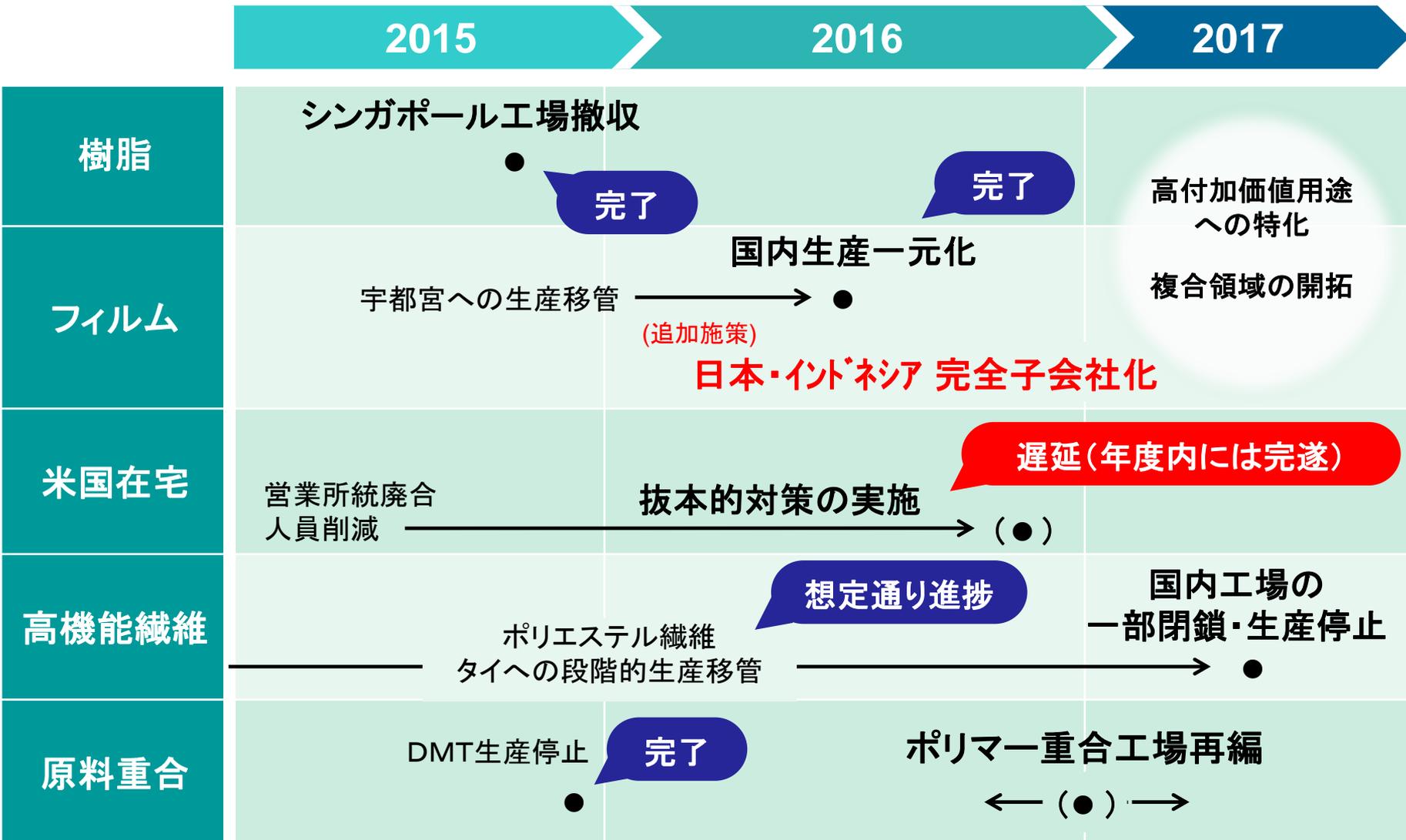
*3 株式併合による株数の変化を反映したベースで記載

*4 「営業利益+減価償却費」にて算出

中長期に向けた取り組み

1. 修正中期計画の進捗

構造改革の推進



1. 修正中期計画の進捗

構造改革 上期主要アクション

フィルム事業

岐阜事業所の生産活動停止完了

(2016年9月)

- 宇都宮事業所への生産集約、マザー工場化（生産能力 60千トン ⇒ 30千トン/年）
- 高付加価値用途への特化、一部銘柄についてはOEM化を推進

日本およびインドネシア子会社の完全子会社化

(2016年8月公表)

2000年～

米デュポン社とグローバルで合弁を運営

2016年

日本・インドネシアについては、デュポン社より持分を取得し、100%化

- 将来の成長に向けて、事業運営の柔軟性と意思決定の迅速性を向上
 - ・ポリエステル以外の高機能素材の活用
 - ・帝人グループの他素材との融合・複合化
 - ・外部との協業



新規ビジネスの開拓

構造改革によるビジネスポートフォリオの転換を加速

1. 修正中期計画の進捗

成長・発展戦略の推進

～2015

2016

素材

2016/3

- 熱硬化性CFRP一貫生産体制 構築

2015/4

- ISO/IEC17025 の認証取得
(複合材料技術開発センター)

2016/5

- ISO/TS16949の認証を取得

2016/9

- 北米CSP社買収

炭素繊維 北米新工場検討

2015/8

- 新規メタアラミド繊維 新工場稼働(タイ)

パラアラミド繊維「テクノーラ」能力増強

耐震構造材・防災製品ラインナップ拡充

ヘルスケア

2016/8

既存薬の適応症追加・拡大
「フェブリク」「ソマチュリン*

- 成長ホルモン剤導入
(VRS-317)

2015/9 患者情報共有システム

- 「バイタルリンク」販売開始

採用実績拡大

1. 修正中期計画の進捗

成長・発展戦略 上期主要アクション

米国CSP社*1 の買収 (2016年9月)



- ガラス繊維強化複合材料(GFRP)等を使用したSMC技術*2による自動車部品分野では世界最大のTeir1サプライヤー
- 卓越した「軽量」「高外観」部品の製造技術を誇る

*1CSP社：Continental Structural Plastics社 *2SMC技術：シート・モールディング・コンパウンド技術

ガラス繊維複合材料(GFRP)
を中心とした複合材料技術

自動車部品設計～生産技術、
品質管理・ノウハウ

世界の主要自動車メーカーへの
供給実績と信頼関係

CSP

炭素繊維複合材料(CFRP)技術

熱可塑性CFRPの1分成形技術

多様な高機能材料、
長年にわたり蓄積された高分子技術

グローバルネットワーク

帝人

短中期：自動車の「外板部品」「構造材」両面にわたる軽量化への貢献

中長期：将来のマルチマテリアル化に向けたハイブリッド商品開発の強化

自動車向け「複合材料製品事業」の橋頭堡獲得へ

1. 修正中期計画の進捗

成長・発展戦略 上期主要アクション

新規長期作用型成長ホルモン剤「VRS-317」の導入

米ヴェルサーティス社と日本での独占的開発・販売契約を締結(2016年8月)



小児における成長ホルモン分泌不全性低身長症(小児GHD)*を最初の予定適応症として、臨床試験を国内で実施中

*小児GHD:小児期の成長ホルモン分泌量が十分でない場合に発症する低身長などの成長障害を主症状とする疾患

VRS-317の特徴

ヴェルサーティス社による米国での第2相臨床試験の結果、
毎日注射する必要のある既存製剤と
同様の効果を月2回の注射で得られることが示されている

国内市場規模*

600 億円程度 *既存成長ホルモン製剤(小児GHD適応)の国内市場規模

**内分泌疾患・小児科領域といった注力領域への貢献を期待
今後、本剤の適応拡大に向けた開発にも取り組む**

2. 次期中期計画に向けて

(2017年2月公表予定)

策定方針

1. 長期的（～2025年頃）に目指す姿を明確にし、
2. その実現のために 2017～19年に取り組むべき実行計画を立案

環境認識



環境・省エネ



安心・安全・防災



少子高齢化・健康志向



ICT*の急激な進化

*情報通信技術:
Information and Communication Technology

社会と事業環境の変化を先取りし、新たなビジネス機会を取り込むべく

事業ポートフォリオの絶えざる変革を追求

2. 次期中期計画に向けて

事業ポートフォリオの変革

- 既存事業の成長 + 既存の延長線上ではない新たな事業の創出・育成

素材事業

素材・部材の高機能化に対する多様なニーズの高まりとマルチマテリアル化の流れ

⇒単一素材に捉われない「複合材料事業」への転換

ヘルスケア事業

少子高齢化の進展と健康寿命延伸ニーズの高まり、デジタル技術の進化による医療サービスの高度化

⇒埋め込み型医療機器、保険外ビジネス領域の拡大

変革に向けた事業基盤の整備

- 事業ポートフォリオ変革に適合するための、**グループ組織構造/運営体制**および**コスト構造の変革**を織り込む
- 業績達成および変革進捗を可視化するための**戦略的KPI***を設定

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

① 競合・市況変動にかかもの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 製品の品質にかかもの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

③ 研究開発にかかもの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、特に医療用医薬品の開発には、多額の費用と長い期間がかかるうえ、創薬研究において、有用な化合物を発見できる可能性は決して高くありません。また、種々の要因により承認申請を断念しなければならない可能性があります。また、承認申請した後でも承認が取り消されることがあります。

④ 海外活動にかかもの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 事故・災害にかかもの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

本資料は、2016年11月7日午前11時30分に公表した弊社決算発表に基づくものです。
本資料に記載された製品名等は登録商標です。

◆ 連結貸借対照表

	14年 12月末	15年 3月末	15年 6月末	15年 9月末	15年 12月末	16年 3月末	16年 6月末	16年 9月末
(億円)								
資産 合計	8,327	8,237	8,164	8,027	8,219	8,234	7,898	7,797
流動資産	4,131	4,060	3,956	3,956	4,150	4,305	4,137	4,036
固定資産	4,196	4,177	4,208	4,071	4,069	3,929	3,761	3,762
負債・純資産 合計	8,327	8,237	8,164	8,027	8,219	8,234	7,898	7,797
負債	5,391	5,201	4,963	4,838	4,918	5,090	4,855	4,632
(内 有利子負債)	3,173	3,082	2,943	2,836	2,811	3,033	2,978	2,762
純資産	2,936	3,036	3,202	3,190	3,301	3,144	3,043	3,165

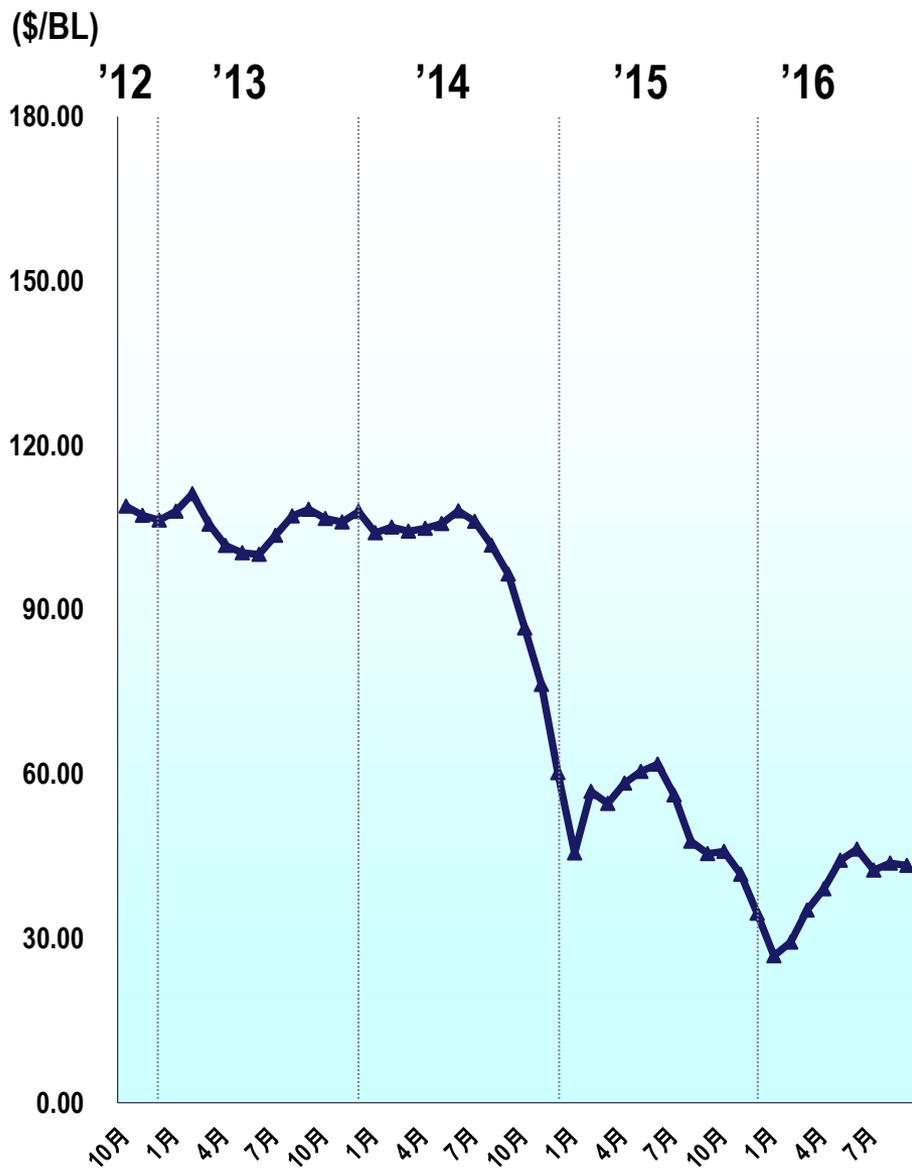
* 詳細については決算短信をご覧ください

◆ 連結損益計算書

(億円)	15年度				16年度		15年2Q 16年2Q 比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	1,926	1,995	1,992	1,995	1,742	1,788	-207
売上原価	1,308	1,345	1,340	1,370	1,131	1,182	-163
売上総利益	617	650	653	624	612	606	-44
販管費	453	461	451	508	455	493	+32
営業利益	164	189	201	116	157	113	-76
営業外損益	16	-11	8	-81	-13	10	+20
（内 金融収支）	5	-5	1	-3	7	-3	+1
（内 持分法投資損益）	9	11	5	-55	8	17	+6
経常利益	180	179	210	35	144	123	-56
特別損益	-13	-16	-78	-41	-6	-22	-7
税前利益	167	163	132	-6	138	100	-63
法人税等	55	35	43	31	22	-2	-37
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	-4	-16	1	1	3	+7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	112	133	105	-38	114	99	-33

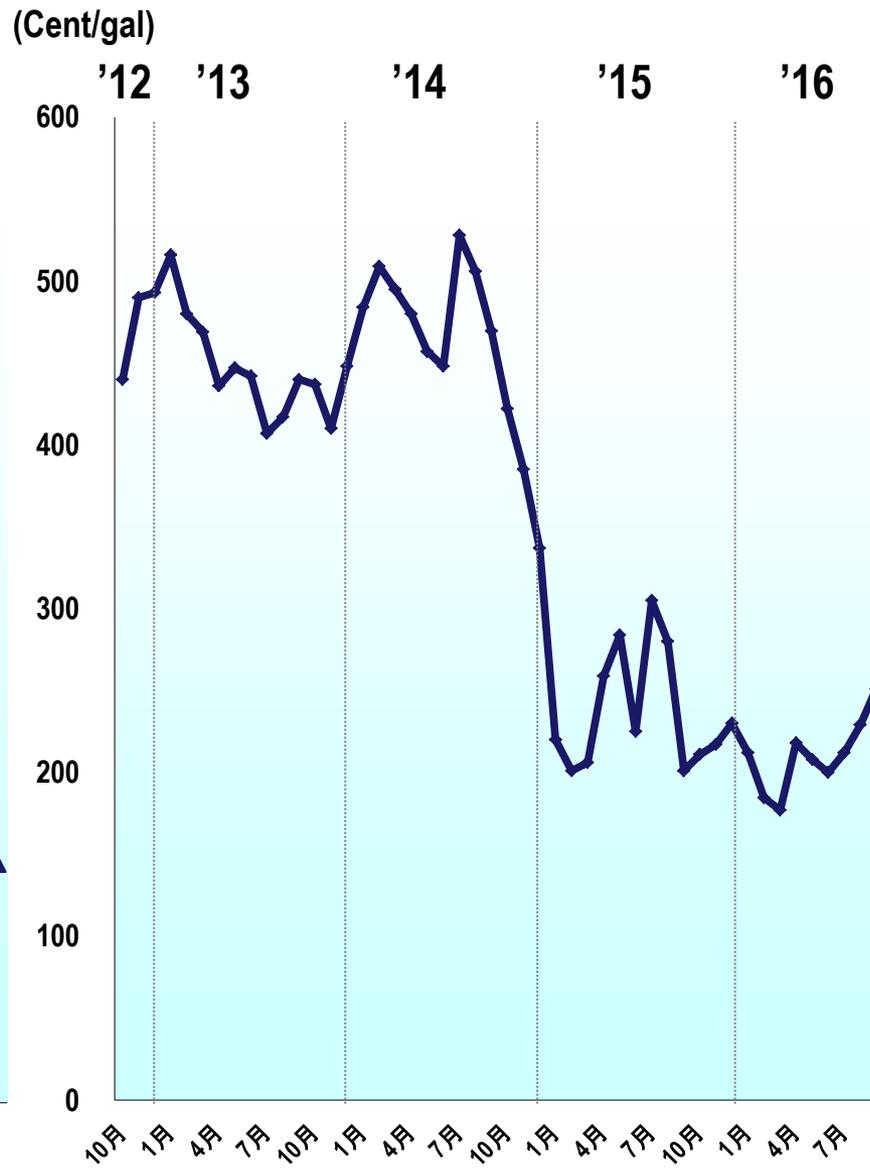
* 詳細については決算短信をご覧ください

◆ ドバイ原油価格推移



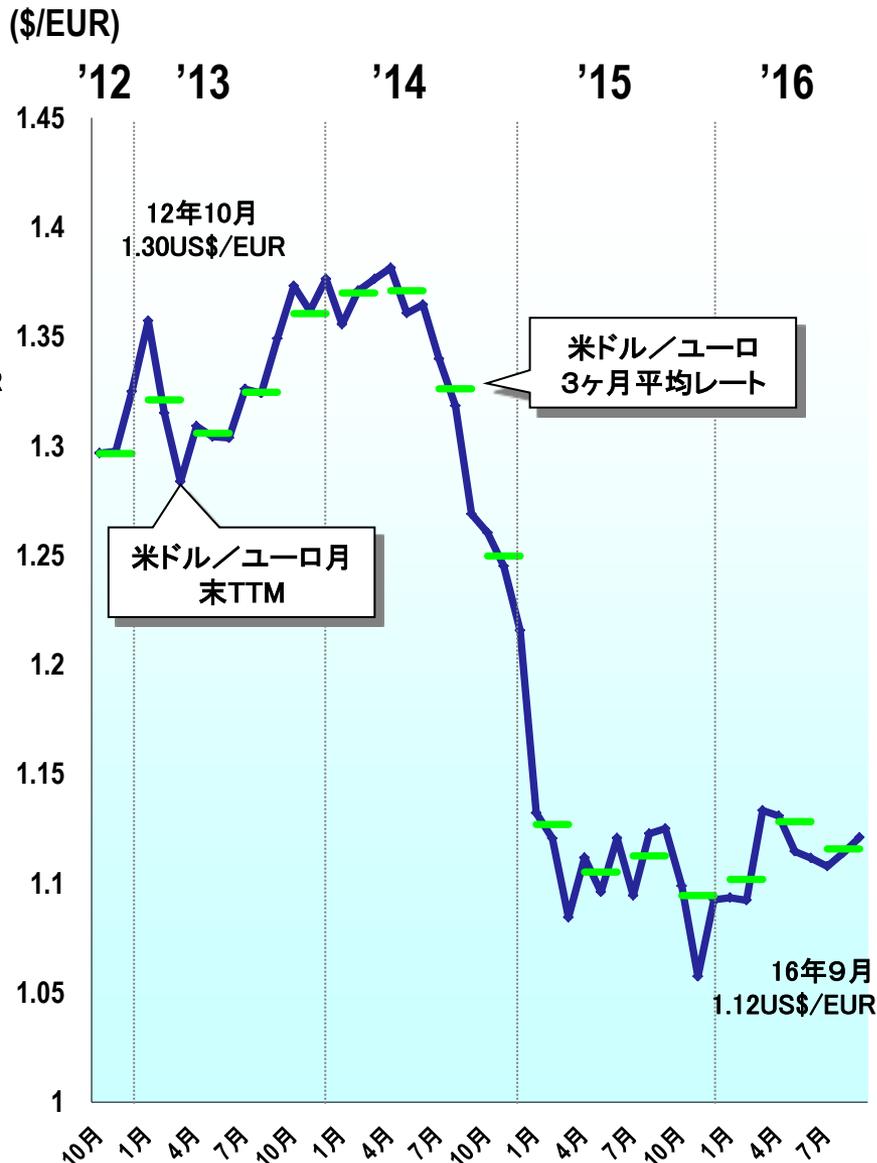
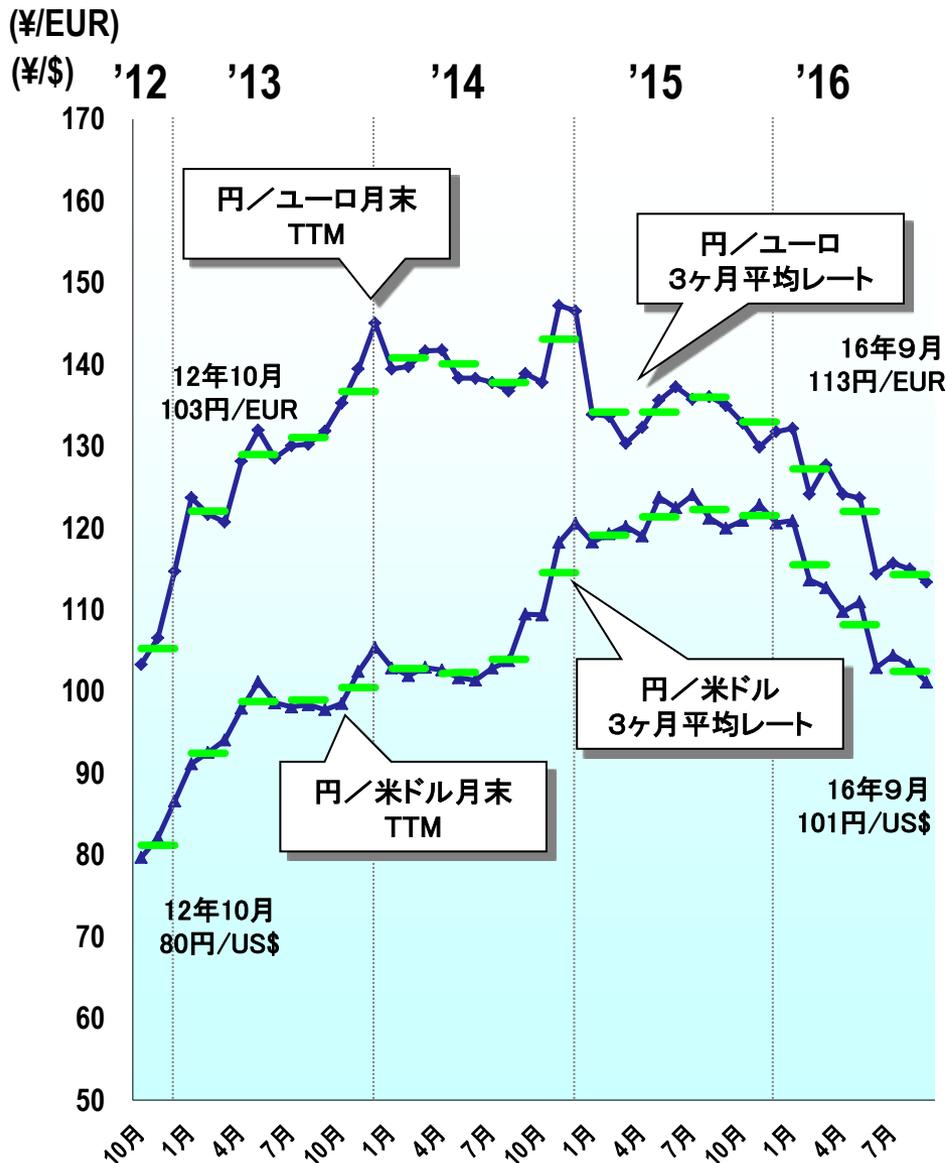
【出所:Platt's社のDATAを基に弊社推定】

◆ ベンゼン価格推移



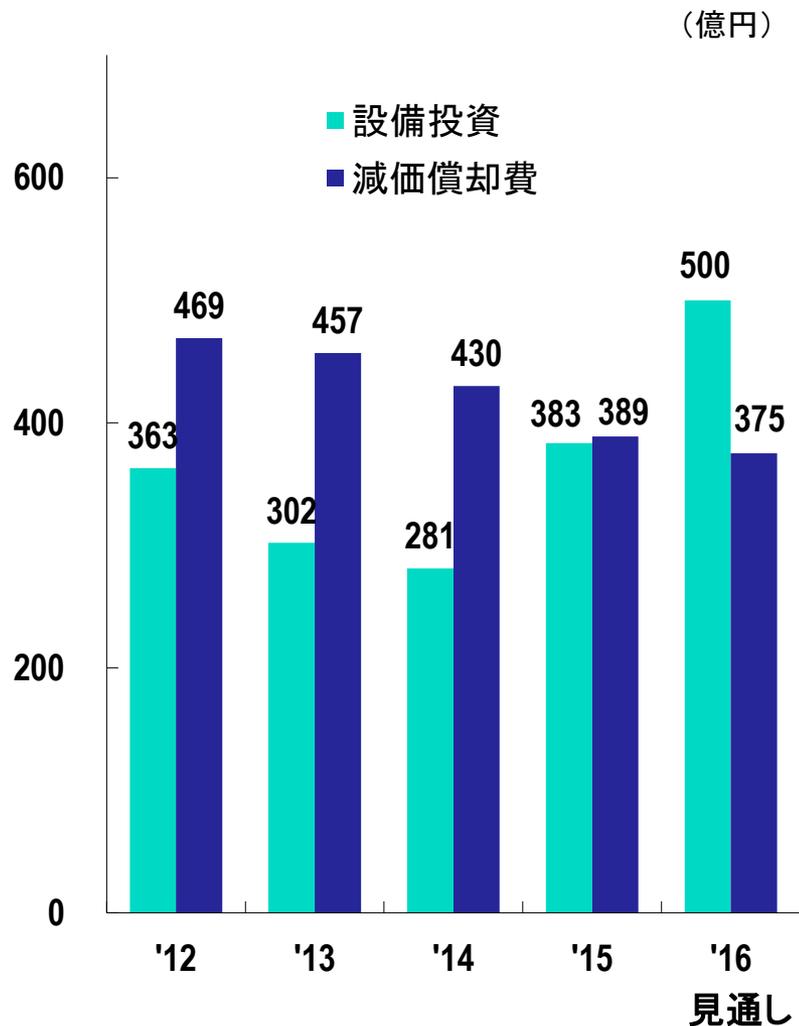
【出所:BZ DewittのDATAを基に弊社推定】

◆ 円／米ドル、円／ユーロ為替レート推移

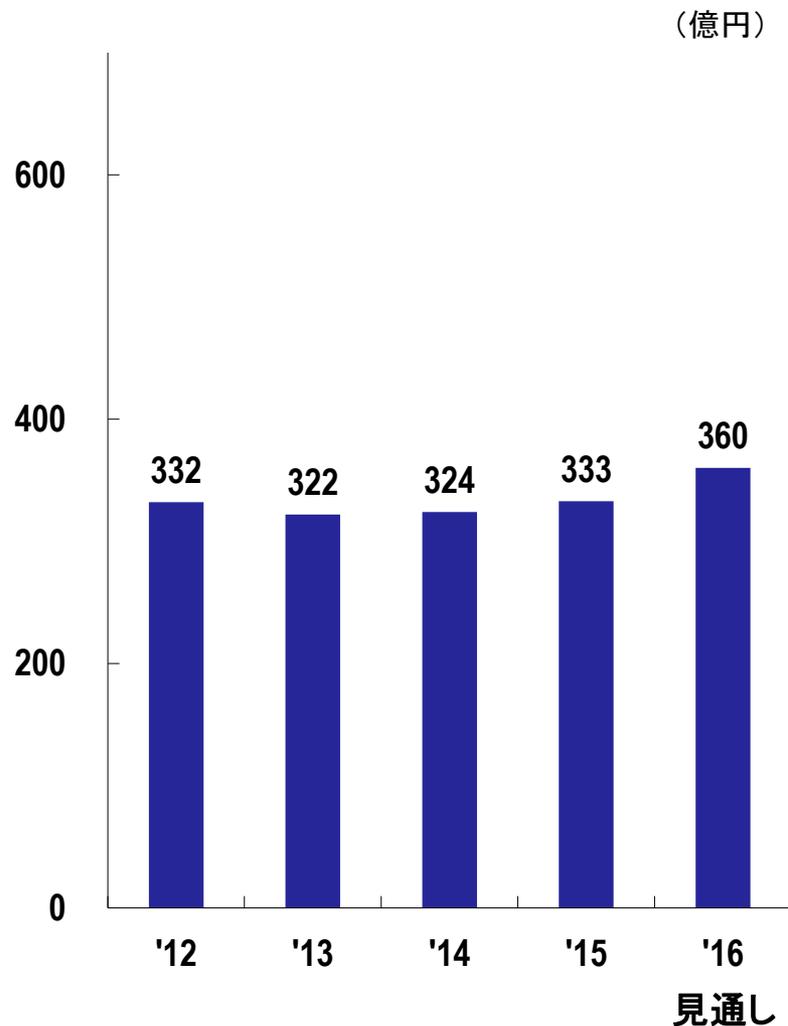


◆ 設備投資・減価償却費・研究開発費推移

設備投資・減価償却費



研究開発費



◆ 主要医薬品売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	15年度					16年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
ボナロン [®] *1	骨粗鬆症治療剤	33	33	35	28	129	31	28
ワンアルファ [®]	骨粗鬆症治療剤	13	13	13	10	49	10	9
骨粗鬆症治療剤 計		46	46	49	38	178	41	38
フェブリク [®]	高尿酸血症・痛風治療剤	48	52	60	53	213	64	64
ムコソルバン [®]	去痰剤	18	14	20	15	68	14	13
ベニロン [®]	重症感染症治療剤	25	0	13	6	44	10	12
ラキソベロン [®]	緩下剤	7	7	7	5	26	5	5
トライコア [®]	高脂血症治療剤	4	4	4	4	16	4	4
ソマチュリン [®] *2	先端巨大症・ 下垂体性巨人症治療剤	3	4	4	4	15	4	4
オルベスコ [®]	喘息治療剤	3	3	3	3	12	3	3

*1ボナロン[®]/Bonalon[®] はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

*2ソマチュリン[®]/Somatuline[®] は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2016年9月末現在)

	臨床開発段階				* 承認／新規上市は直近1年間を記載
	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認／ 新規上市
骨・関節 領域		ITM-058 KTP-001			
呼吸器 領域		PTR-36			
代謝・ 循環器 領域	TMG-123 TMX-049 TMX-049DN*3	VRS-317*4	STM-279	TMX-67 [フェブキシソスタット] (中国) ITM-014N [ソマチュリン®] (適応追加: 神経内 分泌腫瘍)*2	TMX-67TLS [フェブリク] (適応追加: 腫瘍 崩壊症候群)*1
その他			GGs-ON, -MPA, -CIDP [ベニロン] (適応追加①: 視神経炎<ON>、 (適応追加②: 顕微鏡的多発血管炎 <MPA>) (適応追加③: 慢性炎症性脱髄性多 発根神経炎<CIDP>)		

*1 フェブリクの腫瘍崩壊症候群への適応拡大として開発中のTMX-67TLSは、2016年5月「がん化学療法に伴う高尿酸血症」に対する適応追加の承認を取得。*2 ソマチュリンの神経内分泌腫瘍への適応拡大として開発中のITM-014Nは、2016年7月独立行政法人・医薬品医療機器総合機構に承認申請を実施。*3 2016年7月 2型糖尿病における新規糖尿病性腎症治療薬としてTMX-049DNの臨床開発(英国、Ph 1)に着手。*4 2016年8月米ヴェルサーティス社が創製した新規長期作用型成長ホルモン剤VRS-317の日本における独占的開発・販売契約を締結。

◆ 新規開発医薬品 (2016年9月末現在)

【承認取得】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67TLS (フェブキソスタット)	腫瘍崩壊症候群	本剤の強力な尿酸生成抑制作用により、1日1回の投与で、悪性腫瘍に対する化学療法に伴う高尿酸血症の発症を抑制することが期待される。	錠剤	自社開発品 (適応追加) 2016年5月「がん化学療法に伴う高尿酸血症」に対する承認を取得

【承認申請】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67 (フェブキソスタット)	高尿酸血症・ 痛風	国内販売しているフェブrik錠を中国に導出する。本剤は、強力な尿酸生成抑制効果に加え、腎機能低下等により既存治療薬を使うことのできなかつた患者へも使用が可能であり、中国における高尿酸血症・痛風治療の新たな選択肢として、高尿酸血症・痛風患者のQOL (Quality of Life) 向上に貢献できることが期待される。	錠剤	共同開発:アステラス製 薬(中国)有限 公司 2015年11月承認申請
ITM-014N (ランレオチド酢酸塩)	神経内分泌腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導(直接的作用)や細胞栄養因子の分泌制御(間接的作用)を介した作用により、神経内分泌腫瘍の進展抑制や諸症状の改善が期待される。	注射	導入:仏イプセン社 (適応追加) 2016年7月承認申請

◆ 新規開発医薬品 (2016年9月末現在)

【Phase III】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GGs-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGs-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害(多発性単神経炎)を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGs-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
STM-279	ADA(アデニン・デアミナーゼ)欠損症	本剤(ポリエチレングリコール修飾遺伝子組換えウシADA類縁体)は、ADA欠損症患者にADAを補充することで、リンパ球の減少を抑える注射剤であり、重症複合免疫不全症(SCID)の発症を回避することが期待される。	注射	導入: 英シグマタウ社

◆ 新規開発医薬品 (2016年9月末現在)

【Phase II】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-058	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。 既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と安全性(高カルシウム血症のリスク低減)が期待できる。	注射	導入: 仏イプセン社
KTP-001	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解療法剤。 生体内でヘルニアの自然退縮に関わる酵素(マトリックスメタロプロテアーゼ)と同じ構造のヒト型タンパク質であることからアレルギー反応のリスクが少なく、選択的に作用するため、椎間板周囲組織の傷害性が低いと期待される。手術に代わる低侵襲性の治療法の選択肢を広げることができる。	注射	発明者: 波呂浩孝氏、 小森博達氏 共同開発: 化血研
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序(CRTh2拮抗作用)によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果(軽症患者)や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果(軽症~重症の患者)が期待される。	錠剤	導入: 英プルマジェン・セラピューティクス (アズマ)リミテッド社
VRS-317	小児・成長ホルモン分泌不全性低身長症	ポリペプチドを融合し、長期作用性を有する組換えヒト成長ホルモン。ヴェルサーティス社による米国での第2相臨床試験の結果、毎日注射する必要のある既存製剤と同様の効果をもつ2回の注射で得られることが示されている。	注射	導入: 米ヴェルサーティス社 Ph-2/3試験の第2相期を実施中

◆ 新規開発医薬品 (2016年9月末現在)

【Phase I】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMG-123	2型糖尿病	新規作用機序(肝優位型GK活性化作用)による血糖コントロール薬。 血糖コントロールが不十分な患者で有効性が期待されるほか、高い利便性(1日1回投与、腎機能低下患者で用量調節の必要性低い、薬物相互作用の懸念が少ない等)が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049DN	2型糖尿病における糖尿病性腎症	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規糖尿病性腎症治療薬として、腎症の進展抑制が期待される。	錠剤	自社開発品

◆ 導入品目の状況 (直近3年間を記載)

導入契約	導入元	内 容
2015年3月	大正製薬(株)	変形性関節症の鎮痛・消炎を適応症とした、エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤TT-063の国内における販売権許諾契約を締結 (2015年9月：大正製薬(株)が製造販売承認を取得) (2016年1月：「ロコア」として大正富山医薬品(株)と共同販売を開始)

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

Human Chemistry, Human Solutions

テイジンブランドの約束を“Human Chemistry, Human Solutions”と表現します。

この約束は、「人と地球環境に配慮した化学技術の向上と、社会と顧客が期待している解決策を提供することで本当の価値を実現することに挑戦し続けること」を意味しています。

私たちはこの約束を確実に成し遂げ、企業理念であるQuality of Lifeの向上に努め、社会と顧客から信頼される企業グループであり続けます。